

第 11 回分散凝集科学技術講座 分散・凝集のすべて

一希薄系から濃厚系までのあらゆる分散・凝集現象に関わる研究者・技術者のための最新理論とテクニック

主催：日本化学会 コロイドおよび界面化学部会

日時：2024 年 12 月 12 日（木） - 13 日（金）

開催方法：オンライン（Zoom Webinar）

セミナー詳細とお申込方法：<https://colloid.csj.jp/202408/2024pt/>

プログラム：

12 月 12 日（木）【分散・凝集の基礎と考え方、および設計指針】

1) 9:10～10:20 実用系における分散凝集の現状と課題

武田コロイドテクノ・コンサルティング(株) 武田 真一 先生

2) 10:30～12:00 【特別講演】 非可逆系 vs. 可逆系—分散凝集に対するアプローチの選択

東京理科大学 大島 広行 先生

3) 13:00～14:10 微粒子表面のハンセン溶解度パラメータの測定および分散性評価

関西大学 山本 秀樹 先生

4) 14:20～15:30 粒子分散および表面処理の基本的な考え方とその具体例

福井技術士事務所 福井 寛 先生

5) 15:40～16:50 実用濃厚スラリーでの分散設計 ～分散安定性とぬれの考え方

小林分散技研 小林 敏勝 先生

12 月 13 日（金） AM 【分散・凝集の評価と制御】

1) 9:00～10:00 いっしょに学ぶ—動的光散乱だけではない光散乱法の基礎と実例

産業技術総合研究所 高橋 かより 先生

2) 10:10～11:20 分散系レオロジーの基礎と評価

日本ペイントコーポレートソリューションズ(株) 井賀 充香 先生

3) 11:30～12:30 実用濃厚系における分散凝集の評価法

武田コロイドテクノ・コンサルティング(株) 武田 真一 先生

12 月 13 日（金） PM 【分散・凝集の応用】

【A コース：電池、エレクトロニクス、塗料、新規応用向け】

4-A) 13:30～14:30 高濃度粒子分散系のレオロジー制御 —擬塑性流動とダイラタント流動を使いこなす—

(株)豊田中央研究所 中村 浩 先生

5-A) 14:40～15:40 金属微粒子のインク・ペースト化と配線材としての利用

北海道大学 米澤 徹 先生

6-A) 15:50～16:50 数値シミュレーションで可視化する分散・凝集

(社) プロダクト・イノベーション協会 辰巳 怜 先生

【B コース：化粧品、ハウスホールド、バイオ、医薬品向け】

4-B) 13:30～14:30 化粧品用微粒子粉体の分散性を定量的に評価するためには？

(株)資生堂 那須 昭夫 先生

5-B) 14:40～15:40 化粧品の乳化概論と技術動向

神奈川大学 山下 裕司 先生

6-B) 15:50～16:50 化粧品におけるリポソーム ー形成機構と分散安定性ー

(株)コーセー 大石 郁 先生

【参加費】

部会員 30,000 円、日本化学会会員 35,000 円、協賛学会員 35,000 円、

非会員 40,000 円、学生（部会員） 8,000 円、学生（非会員） 10,000 円

以上